

か

～ 我が国の食料供給基地を目指して～

かごしまの農業農村



畑かん施設整備を契機とした経営規模拡大により

農業生産額が増加

【志布志市有明町, 曾於郡大崎町 第四曾於南部地区】

P1

畑かん施設整備を契機とした高収益作物の導入により

農業所得が増加

【大島郡伊仙町 阿権地区】

P3

多様な主体の参画（水土里サークル活動）により

地域コミュニティーを強化

【日置市吹上町 花田地区】

P5

平成29年11月
鹿児島県

畑地かんがいの整備と共に発展する農業法人

～ 鹿児島県大隅半島 A法人の事例 ～

【志布志市・大崎町（第四曾於南部地区）】

取組の概要

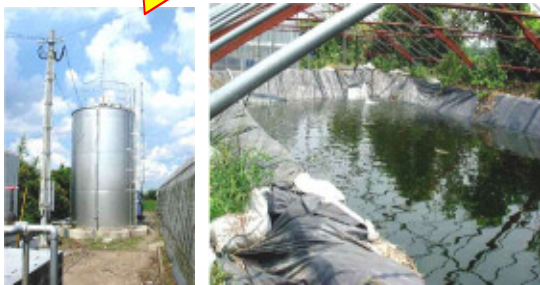
- 不安定な地下水依存の営農から、通水を機に畑地かんがい用水を活用し、生産規模を拡大
- 自走式散水器具を活用し、かん水作業の軽減と生産性の向上を実現

設立時

脱サラ同級生3人
「情熱・努力・感謝」で会社設立

- 平成10年に新規就農
- 平成14年に大学の同級生3人で法人化
- 基幹作物：葉ねぎ
- 作付面積：約5ha
- 雇用：常時14名、臨時6名

不安定な地下水
を水源とした
水利用



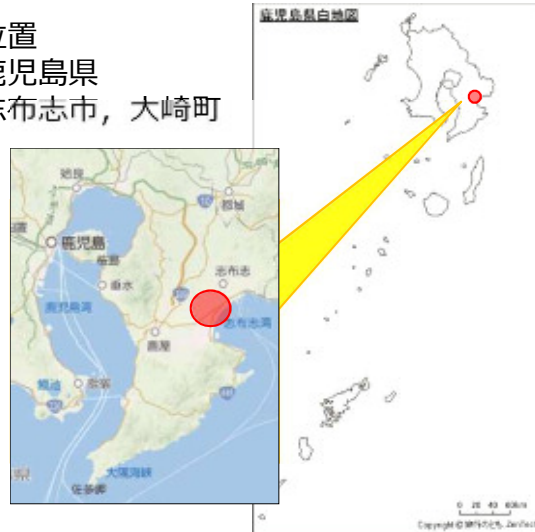
通水前の水源の様子

基盤整備の取組内容

区画整理や畑地かんがいなどの条件整備を行い、規模拡大に対応した営農を応援

地区の概要

- 位置
鹿児島県
志布志市、大崎町



- 営農ビジョン推進品目
・だいこん、キャベツ、にんじん、レタス、はくさい、ごぼう、さといも、かぼちゃ、さつまいも、茶 など
- その他基幹作物
・葉ねぎ

主な支援事業

- 【畑地かんがい整備（第二次整備）】
国営かんがい排水事業（H1～20）
畑地帯総合整備事業（H12～33）



輝北ダム（水源池）

ファームポンド

畑地かんがい営農推進

畑地かんがい営農ビジョンに基づき、受益農家と関係機関・団体が一体となって畑地かんがい営農を推進

- ①畑地かんがい営農ビジョン策定（H20.3～）
策定主体；曾於畑地かんがい営農推進本部
- ②実証・展示ほ場，畑かんマイスターの活用

取組による効果

生産現場

自走式散水器具で労力軽減



- 自走式散水器具(スマートレイン)等を積極的に導入し労力を軽減。
- 散水器具研修会にも参加し、かん水技術取得中

安定した農業用水により施設栽培も拡大



- 畑地かんがい用水が確保されたことにより計画的な作付・出荷が可能となり販路拡大を展開
- 安定した農業用水により施設の規模拡大中

担い手育成・雇用拡大

担い手の確保・育成



- 研修会での事例発表や農業大学生の研修受け入れ、卒業後の雇用等担い手・新規就農者を支援

地域の雇用が拡大



- 葉ねぎの出荷調整作業は、50名のパート雇用により実施
- 規模拡大とともに雇用を拡大
常時雇用14名 ⇒ 32名(2.3倍)

A 法人の通水後の経営状況

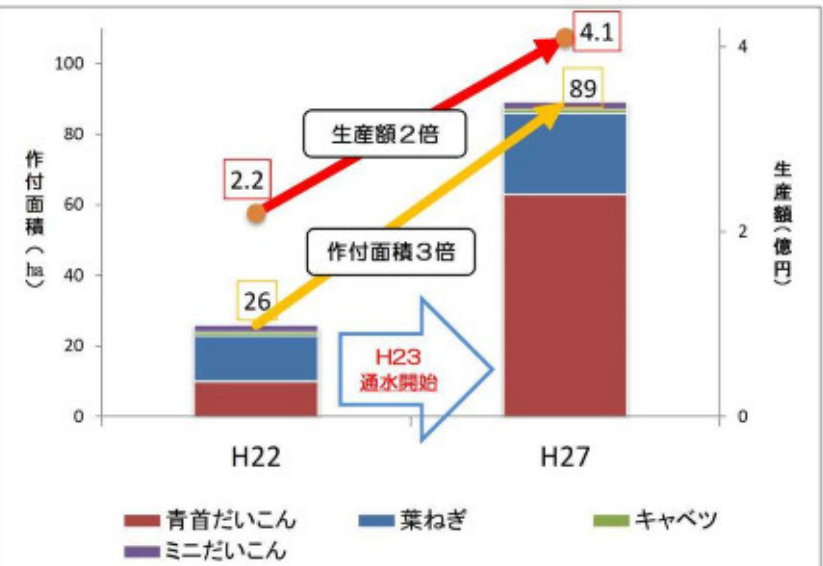
通水を機に生産が急拡大

- 【営農規模】 約89ha
- 【基幹作物】 だいこん、葉ねぎ、キャベツ
- 【雇 用】 役員3名、常時32名、臨時6名

A 法人の施設



作付面積・生産額の推移



取組の概要

- 国営及び県営によるダム，畑かん施設整備による天候頼みの不安定な農業経営からの脱却。
- 畑かん施設を利用したかん水による労力・経費の大幅な軽減。
- さとうきび中心の作付体系から高収益作物の導入による農業所得の向上。

取組前

恒常的な水不足等による不安定な農業経営

- 河川等の水源が少ない離島では夏場に干ばつ被害が度々発生
- また，台風の常襲地帯でありさとうきびを基幹作物とした農業経営は不安定

天候頼みの不安定な農業経営



基盤整備の取組内容

区画整理，畑かん施設の整備や畑かん営農の推進

地区の概要

- 位置
鹿児島県大島郡伊仙町阿権地内



阿権地区



- 主要作物
さとうきび，ばれいしょ，飼料作物



さとうきび



ばれいしょ

主な支援事業

- 国営事業
【ダム等整備】
● 国営かんがい排水事業（H7～29:徳之島用水地区）
※H28年2月から一部試験通水開始

- 県営事業（国営附帯事業）
【区画整理】
● 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（H16～26）
【畑かん施設整備】
● 畑地帯総合整備事業（担い手支援型）（H26～33）



徳之島ダム



散水状況（さとうきび）

- 徳之島地域総合営農推進本部等による受益農家への各種支援



受益農家に対する現地研修会



水利用組合設立の支援

取組による効果

畑かん施設の利用による労力・経費の軽減

整備前



○給水スタンドで500ℓタンクに貯水し、畑に移動してエンジンポンプによりかん水



【散水にかかる経費の比較(作物名:かぼちゃ, チューブかん水)】

(整備前)	
ほ場と給水スタンド往復の労力	32,850円
エンジンポンプ燃料代	1,523円
計	34,373円

整備後



○給水栓を開栓することで容易に散水することが可能



(整備後)	
塩ビ管一式(170千円/5年)	13,055円
畑かん賦課金(5千円/年)	5,000円
給水施設設置・撤去費用	11,680円
計	29,735円

⇒ 10アール当り年間4,638円の経費節減。

高収益作物の導入による農業所得の向上

【春かぼちゃの作付・生育状況】 ※徳之島地区畑かん営農ビジョン戦略品目

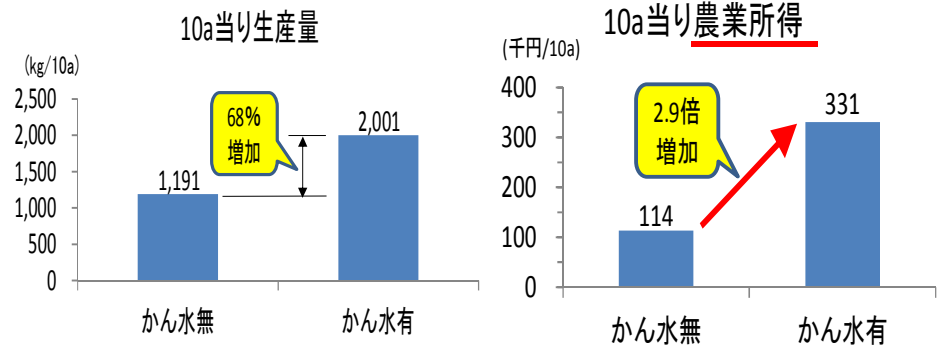


【阿権地区における春かぼちゃのかん水効果実証結果による収益の比較】

○H28年1月植付け → 従来方式散水 → 2月中旬以降畑かん利用開始 → 5月収穫

区分	かん水無 (A農家)	かん水有 (B農家)	比較	備考
生産量 (kg/10a)	1,191	2,001	810	68%増加
粗収益 (円/10a)	472,007	769,140	297,133	
農業経営費 (円/10a)	358,135	438,434	80,299	収量増分の流通費等
農業所得 (円/10a)	113,872	330,706	216,834	2.9倍増加
所得率 (%)	24.1%	43.0%	18.9%	

※「かん水無」ほ場においても、従来方式によるかん水は実施している。



⇒ 収量が6割以上増加し、農業所得も約3倍に増加。

多様な主体の参画(水土里サークル活動)により地域コミュニティを強化

はなだ

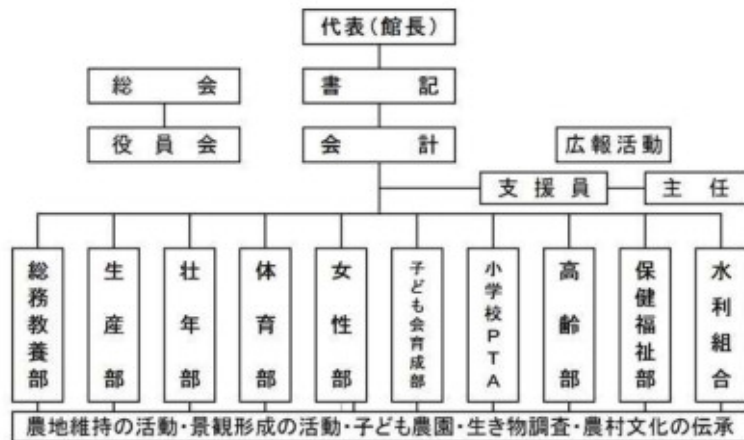
【日置市吹上町・花田地区】

取組の概要

- 地域通貨「花田みどり券」を活用し、水土里サークル活動の啓発・普及、地域活性化、参加者が拡大
- 小学校との連携、景観形成の活動、農村文化の伝承を通じた地域コミュニティを強化

地区の概要

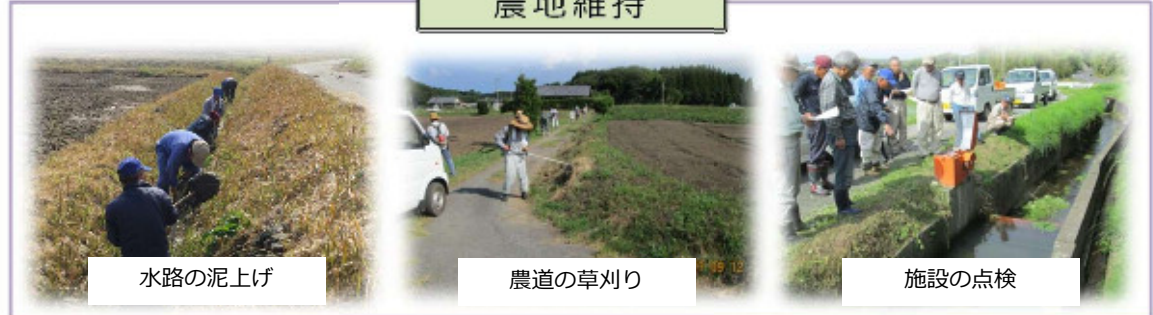
- 組織名 花田地区^{みどり}水土里クラブ
- 場所 鹿児島県日置市吹上町花田
- 取組面積 139.8ha (田 54.6ha、畑 85.2ha)
- 対象施設 開水路 20.3km、農道 27.9km、ため池 3箇所
- 主な構成員 農業者、7自治会、6水利組合、地区公民館(婦人部・高齢部・壮年部など)
- 交付金(H28) 897万円(農地維持、資源向上(共同・長寿命化))
- 取組開始年度 平成24年度～
- 組織図



○花田地区の人口(H29.4月現在) 約750人

取組内容①

農地維持



資源向上(共同)



資源向上(長寿命化)



取組内容②

地域通貨「花田みどり券」

地域通貨の活用で参加促進と地域の活性化



○「みんなで守ろう花田地区」をキャッチフレーズに活動目的を共有化。

みんなで守ろう花田地区

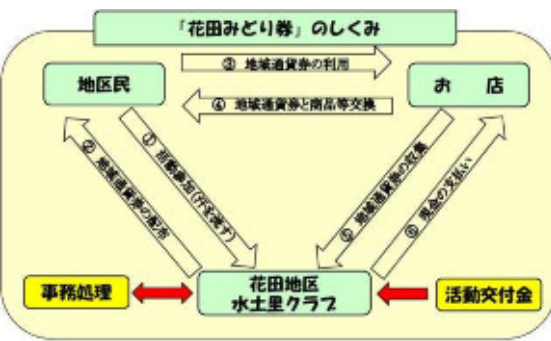
※この地域通貨券は、下記のお店で使用でき、商品やサービスをお引き換えいたします。

- ◆田口石油【コインランドリー含む】(下田尻)
- ◆東風(小野)
- ◆たふろ製菓店(下田尻)
- ◆明るい農村(小永高)
- ◆永山商店(小野馬場)
- ◆ビューティサロンとも(角原)
- ◆徳田農機(下田尻)
- ◆あけし(小野)

※この地域通貨券は、現金や金券・切手等とはお引き換えできません。
 ※この地域通貨券は、釣り銭をお返しすることができません。
 ※この地域通貨券は、有効期限を過ぎますと使用・返金はできません。

花田地区水士里クラブ 日置市吹上町川尻250
 TEL. 099-296-3021

○活動の日当として、地域通貨券を発行し、花田地区内にあるお店での使用とした。



小学校との連携

農業体験を通じた小学校との連携で活動のPR



○農業体験を通じた小学校との連携で、保護者にも活動のPRにつながっている。

農村文化の継承

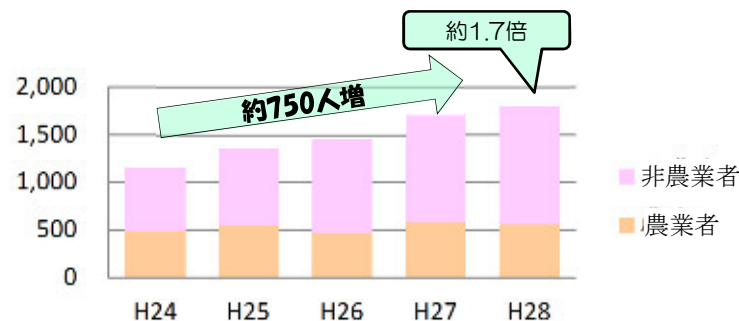
農村文化の継承で地域コミュニティの活性化



○子どもの参加で農村文化の継承と地域コミュニティの活性化につながっている。

取組による効果

活動への参加人数

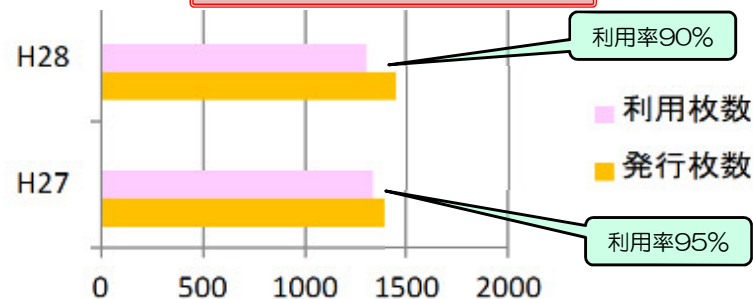


※5年後の参加人数目標：2,000人
 (27年度に目標設定)

【活動への参加人数】

- 平成24年度の活動への参加数 約1,100人が、平成28年度は約1,850人参加
- 半数以上が非農業者で占め、地域共同活動への参加意識も向上

地域活性化



【地域活性化】

- 地域通貨券を花田地区内のお店での利用とすることで地域の活性化が図られている。
- 閉店を考えていたお店が継続して営業をしてくれている。